

## ●エイド

- ・エイドステーションの場所はトイレや水の確保が出来る場所が理想。

宮之浦地区では「なごみ館」が良いのでは

- ・食べ物量が少なく、備品の不備があった。リンゴなどは塩水に付けておくのが良い
- ・県道より中に入った場所にエイドを設ける場合、エイドが在る事が分かるように工夫する

<エイドでのゴミ>

エイドで気になったのが、麺類やお味噌汁類の使用済お椀。

軽いので風に飛ばされやすく、使用後は即座にゴミ袋に入れる現状は望ましいと思いますが、それでは嵩張ってしまって、後処理が大変なのでは？

例えば、

段ボールの空き箱を用意しておき、使用済みのお椀は、使用者がそこに（上向きに）重ねて置いていく、といった方法もあるのかもしれませんが。

## ●立哨

- ・分岐にはスタッフ配備。やむおえずスタッフが置けない場合、ラインカーでコース指示を出す、ウルトラ大会用のラインであることが分かるようにする事。
- ・担当スタッフへは必ず**書面**にて立哨カ所を伝える
- ・立哨アイテムは事前に渡しておく事

## ●その他

- ・スタッフの表情が暗いのは選手へ良い感じを与えない
- ・関門に明らかに間に合わない選手のピック方法
- ・夕刻の暗くなってからライトやリフレクターの着用呼びかけ
- ・のぼり旗は前もって設置
- ・中型バス等を手配して事前にスタッフ全員でコース、エイド箇所の確認
- ・選手の同行者への配慮。トレッキングの案内書も同封させてみてはどうか
- ・”〇〇～〇〇は国立公園内のため火器の使用が制限され、エイドでの提供は飲物だけです。”

といった情報も織り交ぜながら、大会趣向を浸透させ、モラルの向上や自然環境の保護について意識を高めることも重要であるように思われます。

また、印刷物は、コストが高く、校正にも手間がかかりますので、今回の「エイドステーション配置図」の配布と並行して、例えば、コース説明の詳細情報は動画等も活用して大会 HP にアップし、内容を充実させてはいかがでしょうか？

参加者は、GPS ウォッチで位置を把握しておられる方も多いでしょうし、コース上の「距離表示」についても”eco”の観点から省略する旨を事前にアナウンスしておけば、特段の問題は無いようにも考えられます。

・前夜祭の舞台演出者への配慮が出来ていない。了承頂けたからと言ってじゃあ勝手にお願ひしますは大変失礼です。担当者を設け、リハーサル打ち合わせなどの手配も行うべきです。

## 選手から

千人規模の有名大会にも劣らないほどのすばらしい運営だったと思います。もちろん、選手サイドからの見方なので、スタッフ間ではいろいろあったのかもしれませんが。エイドも良かったと思います。先頭集団は開設が間に合わなかったとかいう話も聞きましたが。

どこかの大会でもありましたが、各エイドの開設予定時間なども事前に分かれば突っ走る人もいないのでは？と思いました。海宝さんの大会も制限 16 時間で全体的にユルいのですが、やはり数百人もの参加者が集まるとシリアスなランナーも出てました。

また、誘導も分かりにくいところではスタッフが誘導してくださり助かりました。そう言えば、どこでしたか、県道を左折して迂回するコースが矢印のみで、曲がらずにまっすぐ行ってしまったランナーも多かったと言っていました。ここは私も迷ったところです。矢印通り行きましたが。

今回 85km 地点あたりで不整脈が出てしまい、エイドでしばらく寝かせてもらいましたが、ビニールシートなどがあればいいなと思いました。また、体調不良でリタイアする人はエイドでは寒い思いするかもしれないので、毛布とか用意してあるといいかもしれませんね。

今後もさらに良い大会になることを祈っています。ありがとうございました。スタッフのみなさんにもよろしくお伝えください。

大会運営に係って頂いたスタッフの方へは大変お世話になりました。

二回目の大会を終えて、ホッとしている反面、不安要素がたくさん有り皆さんも気づいて頂けていると思いますが運営スタイルを大きく変えていかなければこの大会を続けていくことが難しく感じます。そして私はこの大会をこの規模で終わらせたく無く、最終目標としては 100 km、50 km、25 km の三種目で行い、島内外から 500 名以上の選手を集めたいと考えています。

その為にはまず、情報や意見の共有化。

一つの媒体でスタッフ全員へ連絡が取れる方法が望ましく、現在のところ E-mail になってしまうのかと思います。LINE や Facebook のメッセージでグループ活用出来れば一方通行にならず、意見交換などもスムーズかと思えます。現代においてどちらかの媒体が利用しやすいように思います。

ご利用の無い方へは登録をして頂きたい。そして一言でも良いので必ず返信が必要と感じます。

そして役割分担

エイド、立哨、・・・。

各、役割に班長(リーダー)を設け、担当になった役割に関しては決定権を与え、準備段階から当日、アフターまで責任を持ってもらう。役割詳細においては委員長と決めていくのが良いと思う。

皆様も仕事があり、忙しくされていると思います。その為大会運営にそれ程時間が割けないと思われる方はボランティアとして大会協力いただけたらと思います。

第3回大会はこのようなスタイルで挑まれることが成功の道かなと感じました。

御調 伸一郎